

開催日：平成29年10月2日（月）

場 所：新軽井沢会館

■今後検討する個別課題（これまでの会議であげられた課題）は次の3つに整理されました。

① 駅前の交通機能のあり方

駅前ロータリーのあり方、駐車場の位置など

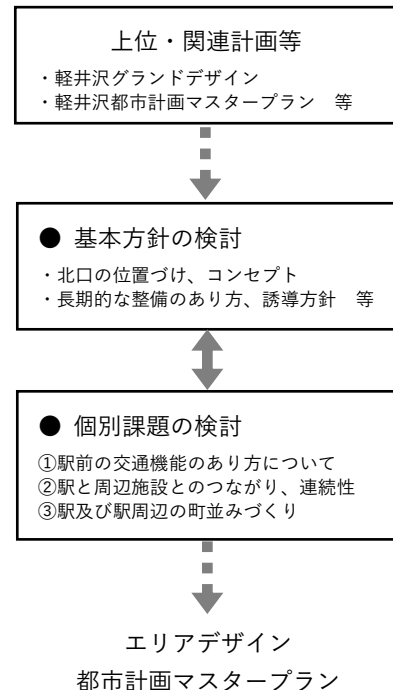
② 駅と周辺施設とのつながり、連続性

駅周辺施設との連携、南口とのつながり、矢ヶ崎公園への導線など

③ 駅及び駅周辺の町並みづくり

軽井沢本通りを中心とする町並み景観など

■町の上位・関連計画等（軽井沢グランドデザイン、軽井沢町都市計画マスタープラン等）における位置づけを踏まえた北口エリア全体の基本方針の検討と、上記の個別課題の検討を並行して進めることとされました。



【主な意見等】

- 横町（軽井沢本通りの一本西側の通り）の活性化、矢ヶ崎公園の池の活性化、駅前交番の移転についても検討してはどうか。  
→〈関連意見〉基本方針の中で地域ゾーンとして捉えることができるのではないかな。
- 有事の際の防災対策（シェルター設置等）についても検討してはどうか。  
→〈関連意見〉町の地域防災計画の整理を踏まえ、様子を見ながら検討するのがよいのではないかな。
- 数年間で実施される民間の開発を意識すれば、個別課題②③を先に議論する必要があるかもしれない。個別課題①は材料がないと議論できない。
- 個別課題③について、具体的にどのレベルの町並みにするのかを短期・中期・長期で分類し、具体的に落とし込むことが必要ではないかな。歩けるまちづくりは町に活気が出る要因となるため、視点の一つとしてはどうか。
- 議論の成果を次の都市計画マスタープランに反映するよう働きかける事はできないかな。  
→〈事務局〉今年度取りまとめたものについては、新軽井沢エリアデザインへ引き継ぎ、都市計画マスタープランに繋げていくことを想定している。
- 地元住民にとって、あまり先の事は議論しにくい。  
→〈事務局〉50年、100年後を踏まえ、今何をすべきかを議論してもらいたい。